

貴族・僧侶・武家の文庫時代から市民図書館の時代まで

日本図書館史概説

岩猿敏生 著

A5・260頁 定価(本体3,800円+税) ISBN978-4-8169-2023-3 2007年1月刊行

日本の図書館文化の変遷を歴史的視点で詳述する概説書

■書籍文化の伝来から、貴族・僧侶・武家などが「文庫」を設立した古代・中世・近世を経て、市民に公開される「図書館」が誕生した明治・大正・昭和戦前期まで、図書館文化の変遷を時代背景とともに詳説する概説書です。

■文化の担い手を象徴する独自の時代区分のもと、「文庫」「図書館」の歴史を詳述。さらに古書籍についての書誌学的記述や貸本・出版業など広い意味での図書館文化まで解説しています。

■図書館文化や図書館学の研究に必読の一冊です。

著者略歴

岩猿敏生 いわさる・としお
1919年生 元関西大学文学部教授 日本図書館協会顧問
著書『日本 文庫めぐりー蔵書の命運ー』(共編、出版ニュース社)、『大学図書館』(雄山閣)、『図書館概論』(共著、雄山閣)、『大学図書館の管理と運営』(共著、日本図書館協会)などのほか、論文多数

【構成】

◆序

1 序論

日本図書館史の時代区分、わが国における図書館文化の成立

2 貴族文庫時代

木簡と紙、写経の盛行と百万塔陀羅尼の印刷、奈良朝における文庫、ほか

3 僧侶文庫時代(I)

鎌倉時代の印刷文化、寺院文庫、官務文庫、金沢文庫、『本朝書籍目録』、ほか

4 僧侶文庫時代(II)

五山版と五山文化、東福寺普門院文庫、足利学校、『節用集』の刊行、ほか

5 武家文庫時代

古活字版時代、紅葉山文庫、昌平校文庫の利用、明倫堂文庫、尊経閣文庫、ほか

6 市民図書館時代

書籍館時代、図書館令の公布、通俗図書館と簡易図書館、読書指導運動、ほか

◆あとがき

◆人名索引

202007

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	日本図書館史概説	冊
		定価(本体3,800円+税) ISBN978-4-8169-2023-3	